

図書室だより



【第三号】

大阪狭山市立第三中学校

平成 28 年 10 月 18 日

《学校図書室利用ガイド》

開館時間：月～金 平日のお昼休み（PM1:15～35）

貸出冊数：一人 2 冊 二週間

貸出の際には、借りたい本を持ってカウンターで学年・クラス出席番号を、係りの人に伝えてください。

第三中学校・学校図書室司書の【西浦】です。

台風一過と共に秋らしい気候となりました。皆さんが一致団結して戦った体育大会も終わり、あっという間に中間テストの時期が近づいてきて、生徒の皆さんはとても忙しい毎日をすごしているんじゃないかと思います。昔から秋は過ごしやすく、スポーツに、芸術にいそしむ機会も増えると思いますが、秋といえば『読書の秋』でもあります。新刊もたくさん入ってきましたので、皆さんの読みたい本を探しに、図書室に足を運んで下さったら嬉しく思います。また読みたい本が見つからない、という方は、是非リクエストもお待ちしております。こういう本を探している、などなど本の探し方がわからない、など質問があれば何でもお気軽に、学校司書までご相談ください。それでは、学校図書室でお待ちしております。

皆の来室を、
待っているよ！



— 学校図書室からのお知らせ —

新刊が入ってきました

学校図書室に、新刊が入ってきました。話題の映画のノベライズや、人気シリーズ本の続編、思わずクスッと笑ってしまうエッセイなど読み物をはじめとして、学習の役に立つような本やギネスブックやスポーツ関連の本、ビブリオバトルで先生方が熱弁と共に紹介して下さった作品もあります。ぜひ図書室に面白そうな本を探しに来てください。



『働くってどんなこと？』ブックフェア開催中

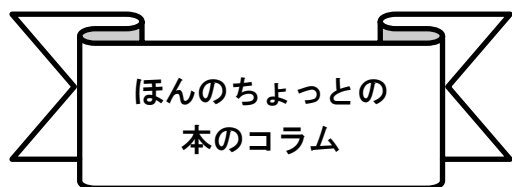
現在図書室では、季節ごとに時期に合わせたブックフェアを行っています。現在は、2年生の職場体験に合わせて、『働くってどんなこと？』というテーマでブックフェアを行っています。働くということについて考察する本から、なりたい職業の探し方、その職業に就くにはどういう勉強が必要なのか、実際の職業の現場で働いている人の言葉など、皆さんが将来の仕事について色々と考える良い機会になるように様々な本を用意しました。

新しく入った本リスト

ほんとうにあった！？世界の超ミステリー	並木伸一郎監修
絶対に明かされない世界の未解決ファイル 99	ダニエル・スミス
池上彰の現代史授業 昭和編	池上彰著
池上彰の現代史授業 平成編	池上彰著
秘密の地下世界	ナショナル ジオグラフィック
るるぶ 鳥取大山	るるぶ編集部
外国人が教えてくれた！ 私が感動したニッポンの文化	ロバート・ キャンベル著
ニュースに出てくる国際条約じてん	池上彰監修
くらべる東西	おかべたかし
職場体験完全ガイド	
いじめない力、いじめられない力	品川裕香
13歳からの頭がよくなるコツ大全	小野田 博一
30日で効果ばつぐん！「勉強のできるぼく」の作り方	清水 章弘
図解世界史を変えた50の食物	ビル・プライズ
カラー世界の原発と核兵器図鑑	ブルーノ・テルトレ著
990円のジーンズがつくられるのはなぜ？	長田華子著
焼かないケーキ	森崎繭香
ピーナッツ エッセンス	チャールズ・M・ シュルツ 著
日本まるごとQ&A	マイケル・ブレース著
5分後に意外な結末「悩み部」シリーズ	麻希一樹
ネイティブはこう使う！	デイビット・セイン著

まんが百人一首大辞典	吉海直人
魔女を継ぐ者	明日香々一
墓守のレオ	石川 宏千花
荻原規子の源氏物語 紫の結び	荻原規子訳
小説 君の名は	新海 誠
神様のいる書店	三萩せんや
だいじな本の見つけ方	大崎梢
告白予行練習	藤谷 燈子
ソード・アート・オンライン 18	川原礫
生きる：劉連仁の物語	森越 智子
白いイルカの浜辺	ジル・ルイス
ムーミン谷の仲間たち	トーベ・ヨハンセン
僕たちの国の自衛隊に21の質問	半田 滋
みんなを幸せにする新しい福祉技術	孫奈美編著
NHK学ぼう BOSAI 命を守る防災の知恵	NHK学ぼう BOSAI 制作班
池上彰の世界の見方	池上彰
もしもあの動物と暮らしたら！？	小菅正夫著
中高生のための科学自由研究ガイド	ターニャ・M・ヴィッカーズ著
ハッピーになれる風水・占い・ 心理テスト	直居由美里他著
13歳からの頭がよくなるコツ大全	小野田 博一
30日で効果ばつぐん！ 「勉強のできるぼく」の作り方	清水 章弘
図解世界史を変えた50の食物	ビル・プライズ
10歳からはじめるプログラミング図鑑	キャロル・ヴァーダーマン他

※その他の本も入荷しています。詳しくは司書まで



10月27日から11月9日まで
第70回 読書週間 となっています。
 まずは一冊、本を読んでみよう！



読書週間って、なんだろう？

終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中で「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。

そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきたいと思います。

（公益社団法人 読書推進運動協議会HPより抜粋）